錯覚を体験、学び発想力を養う

トリックアート美術館

日本発祥の参加・体験型アート「トリックアート」。平面の絵が飛び出したり、角度により違う雰囲気の絵に見えたりする不思議なアートだ。東京・お台場と栃木・那須高原にあるトリックアートの常設館は、作品を見るだけでなく、写真に撮ったり、自由に触れたりとさまざまな体験ができる。思い出づくりとともに、芸術性を学び、発想力を養える体験・見学地と、中学や高校の修学旅行で人気を集めている。

東京トリックアート迷宮館　人気の浮世絵をだまし絵に

「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートをはじめ、多くの人気作品を展示する体験型の美術館。東京屈指の観光スポットお台場にあり、一般客や修学旅行客で年中にぎわっている。

館内に入り、まず目にするのは「江戸エリア」。「華やかな江戸の彩」をコンセプトに、色彩豊かで親しみやすいモチーフの、和風の作品を数多く展示している。

今年は「トリック浮世絵」と題して、浮世絵の名作をだまし絵にして展示。北斎の「神奈川沖浪裏」でサーフィンをしたり、子供たちと一緒に雪だるまを転がしたり、楽しみながら浮世絵を感じ、現実と絵が一体になったユニークな写真を撮ることができる。

また、忍者屋敷ではさまざまな仕掛けが隠されていて、「身長が変わって見える部屋」や「隠し扉」などを体験でき、自分が忍者になったような気分を味わえる。

次の「愉快な忍者とお化けエリア」では、忍者やお化けのトリックアートが来場者を出迎える。

隠し扉などさまざまなトリックも仕掛けられていて楽しい。

隠し扉を抜けた先は「トリックアート名作ギャラリー」。過去の名作から最新作まで、バラエティ豊かな作品を展示している。

このほか「脳トレコーナー」では、クイズ作品や人気の高い隠し絵を展示。「グッズコーナー」では、来館記念のグッズを販売している。

トリックアート美術館だからこそできる〝仕掛け〟が楽しい「リアル謎解きゲーム」（別途料金が必要）も開催中。館内で展開されるストーリーをみんなで解いていく体験は、トリックをより不思議にしてくれるので、お勧めしたい。

2023年8月から新作も登場し、より仕掛けと謎が深まった。

▽東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチシーサイドモール4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人1200円、中学生以下800円。

忍者屋敷で身長が変わって見える？！

光を使った不思議な作品も楽しめる

北斎の「神奈川沖浪裏」でサーフィン

那須とりっくあーとぴあ　「光とアートの世界」を体験

「那須とりっくあーとぴあ」は、国内最大のトリックアートのテーマパークだ。「トリックアートの館」「トリックアート迷宮?館」「ミケランジェロ館」の三つの施設で構成。さらに敷地内の体験館「那須ホワイトスタジオ」では、アートの制作体験ができるプログラムも用意している。

昨年、「トリックアートの館」がリニューアルオープンした。テーマは「大人女子が子供の頃に憧れていた空想の世界」。おとぎ話の世界を絵画で創り出し、光の演出によって、見る人に幻想的な空間を体験してもらう新しい取り組みだ。

物語のメインとなる二つのエリアが新たに誕生した。そのうちの一つ「海のエリア」では、ラ

ンタンが星に変わって空に流れていったりと、不思議な世界を体験できる。観覧者は夕焼けの海が広がる部屋を自由に歩き、気に入った場所で写真撮影をしたり、絵画に隠されたいたずらを探して遊んだりと二重の面白さを体験できる。

もう一つの「家のエリア」は、たくさんある扉の中に、それぞれ違う世界が広がっていくエリア。そのうちの一つ「パパのアトリエ」は、観覧者が白いキャンパスに向かって専用のUVライトを当てると鮮やかな色が浮かび上がり、まるでキャンパスに落書きをしているかのような、子供のころは怒られたかもしれない体験をできる。

トリックアート迷宮?館は、魔法の世界をトリックアートで再現した館。立つ位置により体験者2人の体の大きさが変わる「エイムズの部屋」が有名だ。

ミケランジェロ館は、イタリアルネサンスの三大巨匠の名作をトリックアートで再現。「最後の晩餐」や「アテネの学堂」「システィーナ礼拝堂」が見る人を圧倒する。

▽栃木県那須郡那須町高久甲5760。☎0287（62）8388。不定休で、午前9時半から午後5時まで営業（8月は午前9時から午後5時半まで）。入場料3館共通大人2800円、中学生以下1900円。

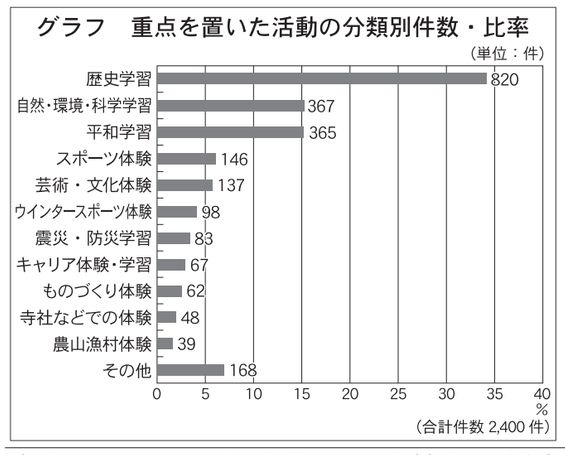
表　重点を置いた活動内容とその件数、実施率

（単位：件・%）

順位 前々回	順位 前回	順位 今回	活動内容	国公立	私立	全体	実施率
1	1	1	遺跡、史跡、文化財、社寺などの見学	302	177	479	49.6
2	2	2	平和学習（体験講話含む）	202	163	365	37.8
4	4	3	伝統的町並みや建造物群保存地区の見学	138	69	207	21.5
3	3	4	水族館、動物園、自然・科学系博物館など	129	74	203	21.0
5	5	5	自然体験や野外活動体験（無人島体験、洞窟体験など含む）	64	48	112	11.5
11	13	6	スキー、スノーボード、スケートなど	60	36	98	10.2
6	6	7	震災学習、防災学習	56	27	83	8.6
10	11	8	マリンスポーツ（ダイビング、シュノーケリングなども含む）	47	31	78	8.1
7	7	9	博物館などの見学	39	37	76	7.9
7	10	10	その他スポーツ（ラフティング、カヌー、フィッシング、熱気球、トレッキング、乗馬など）	35	33	68	7.0
15	19	11	職場訪問、職場体験、職業講話、工場見学など	49	15	64	6.6
12	14	12	伝統文化・伝統芸能、祭り体験（茶道、舞妓、着付け、三味線、ベーロン、エイサーなど含む）	34	25	59	6.1
12	9	13	産業や産業遺産の見学	41	17	58	6.0
15	14	14	環境学習	23	29	52	5.4
22	19	15	座禅、法話、写経など（出張含む）	32	16	48	5.0
18	17	16	ミュージカル、演劇などの鑑賞	32	14	46	4.8
9	8	17	絵付け、焼き物、伝統工芸など	30	13	43	4.5
18	22	18	学校見学（大学、専門学校など）	25	12	37	3.8
22	18	19	国際交流（外国人、留学生との交流）	17	15	32	3.3
14	12	20	美術館などの見学	18	7	25	2.6
18	21	21	その他くらし体験	15	7	22	2.3
17	16	22	料理・食品加工体験（そば打ち、菓子作り、魚さばきなど）	13	6	19	2.0
24	22	23	農業体験	8	4	12	1.2
18	24	24	歌舞伎、文学、能楽などの鑑賞	3	3	6	0.6
25	—	25	酪農体験	3	0	3	0.3
—	24		販売・商業体験	2	1	3	0.3
25	24	27	コンサート、音楽の鑑賞	1	0	1	0.1
—	—		林業体験	0	1	1	0.1
25	—		漁業体験（釣り、地引網を含む）	1	0	1	0.1
25	—	—	ボランティア体験	0	0	0	0.0
25	—	—	介護・福祉体験	0	0	0	0.0
			その他	64	35	99	10.3
			合計	1,483	917	2,400	

※複数回答可（三つまで）
※その他には「生徒が選択し、楽しめること」「アイヌ文化の学習」「班別行動における主体性」「学校交流」などが含まれる

グラフ　重点を置いた活動の分類別件数・比率



国内修旅で「重点を置いた活動」　遺跡、史跡、文化財、寺社の見学

日本修学旅行協会データ

日本修学旅行協会は、2022年度に実施された全国の中学校、高等学校の国内修学旅行と海外・訪日教育に関する状況をまとめた教育旅行年報「データブック2023」を昨年12月1日に発行した。その中から高等学校の国内修学旅行で「重点を置いた活動」の調査データを紹介する。重点を置いた学習や体験の具体的な活動内容を32の選択肢から最大三つ回答してもらい、総実施校数を分母とした割合を出した。表の順位欄にある前々回、前回、今回は、いずれもコロナ感染拡大の強い影響を受けた時期である。1位の「遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学」は全体の半分、2位の「平和学習」が約4割で実施されている。1位から5位の活動内容は、多少の順位の変動はあれ、コロナ期間を通して5位以内に入っている。5位、6位、8位、10位には野外・スポーツ系のアクティビティが入っており、合計すると4割近いケースで実施されていて、コロナ前に順位を戻している。「防災・震災学習」や「博物館などの見学」なども実施する割合は安定して高い。

一方、「絵付け・焼き物・伝統工芸体験」が前回の実施率8・3%（8位）から、今回4・5%（17位）になって、順位を落とし、コロナ禍前の順位に戻っている。

活動を分類別にまとめたグラフでは、史跡、街並み、産業遺産、博物館の見学などの「歴史学習」が34・2%と例年通り最も多い。2位の野外活動体験や水族館、動物園、自然・科学系博物館見学なども含む「自然・環境・科学学習」（15・3%）と、3位「平和学習」（15・2%）は、ほぼ同じ割合。前々回4位、前回6位の「スポーツ体験」は今回4位（6・1%）だった。

東京スカイツリーと東洋大学

サステナブル体験学習プログラム

東武タワースカイツリー（東京都墨田区）が運営する東京スカイツリーと、東洋大学（東京都文京区）は昨年10月、学校団体向けサステナブル体験学習プログラム「～for our sustainable planet～ #サスプラ」の提供を開始している。

プログラムは、東京スカイツリーと東洋大学の国際観光学部の学生たちが産学連携で企画。修学旅行生（高校生、中学生、小学生）向けとなっており、近年の「持続可能な社会の実現」に関する教育活動の需要の高まりを受けて開発。東京スカイツリーに訪れる学生が、地域のサステナブルな取り組みを体験し、学習することを目的としている。

ガイドは、東洋大学の学生や東京スカイツリーのスタッフが担う。東京スカイツリーにおけるサステナブルな取り組みを学習するほか、ものづくりのまちである墨田区に根付く伝統工芸品の制作体験ができる特徴がある。

20人以上の学校団体を対象に「粋コース（からくり屏風制作体験）」と、「雅コース（木目込球制作体験）」から選択できるほか、特別コースとして実際に屏風づくりを行う工房（片岡屏風店）で本物の屏風に触れながら体験できる「工房で見学・体験コース」を用意した。

体験料金は、粋コースと、工房で見学・体験コースが3250円、雅コースが1800円。ともに展望台入場料は別料金で、サスプラ専属ガイド料として1団体あたり3万3千円が必要となる（すべて税込み）。

東京スカイツリーでは、「この企画は身近なところから、私たちにできる『サステナブルな取り組み』のきっかけを作りたい、という思いからスタートした。このプログラムでしか学ぶことができない貴重な体験を用意しているので、皆さまのご参加を心よりお待ちしています」と話している。

東京スカイツリーのサステナブルな取り組みを現地で学習

すみだマイスター認定の職人と伝統工芸制作体験

SDGs学習プログラム　広島女学院生徒が発案

JTB　江田島市と支援、開発

JTBは3月21日、SDGsを軸にした学習プログラム「広島・江田島の未来をつなぐ3R Reconsider【SDGsの理解を深める】・Reborn【海ゴミの再生】・Regional exchange【地域交流】」を発売した。広島女学院（広島県広島市）の生徒が発案したプランをもとに、広島県江田島市と共に支援し開発したプログラム。地域の自然環境の課題解決や、交流人口の拡大を目的としている。

3Rをテーマに、江田島市の自然環境や、特産品である牡蠣（かき）の養殖産業を軸に、SDGsの視点で高校生が考案した内容を商品化。ビーチクリーン活動を行いながら海ゴミの種類を学び、海洋プラスチックゴミを使用した万華鏡を制作するなどの体験を通じて、江田島市の課題である海洋プラスチックゴミについて学び、「美しい自然景観を守り続けるために何ができるのか」を考える内容。

牡蠣の生産、流通、消費までの流れの理解を深めるため、生産者訪問、工場見学が盛り込まれている。見学後には工場併設の飲食店で牡蠣を使ったランチを提供する。

全国有数の牡蠣の養殖産地である江田島市は、観光客の減少や地域住民の高齢化、牡蠣養殖で使用する器具などの海洋プラスチックゴミによる自然環境の悪化が課題となっていた。そのような状況を知った広島女学院の高校生が江田島市の課題解決に向け、実際にフィールドワークなどを行い旅行企画を発案した。

会津磐梯山で学ぶ　教育旅行商品造成

東武トップツアーズ

東武トップツアーズはこのほど、福島県会津磐梯山エリア地域（北塩原村、磐梯町、猪苗代町）の宝磨き上げ事業の一環として、会津磐梯山エリアにおける新たな教育旅行コンテンツを造成したと発表した。地域事業者らが主体となり、魅力ある地域資源を「地域の宝」として磨き上げ、商品開発・改良に取り組むことで、地域活性化につなげる。

会津磐梯山エリアは、磐梯山の噴火とそれに伴う岩雪崩により生まれた雄大な風景、数々の湖沼群、多種多様な生態系、山岳信仰の文化、温泉などの豊富な資源を有する地域。これまでにもこれらの地域資源を軸とした観光産業が栄えてきた。

今回造成したのは、会津磐梯山エリアの自然を生かした探究的な学びや、SDGsを取り入れた新たな教育旅行コンテンツ。修学旅行や野外活動などの教育旅行の実施場所として、歴史、環境、科学、産業など多角的な視点で奥行きのある学びを提供する。

「今後も地域に眠る魅力あるコンテンツを掘り起こし、地域のさらなる活性化を目指して観光で日本を元気にする活動を推進していく」と同社。

ラクラク集金ならリコーリース！

2万社以上の導入実績！安心して導入いただけます！

修学旅行費の集金に便利な2つのラインナップ

コンビニ決済
●24時間365日全国のコンビニでお支払い可能！
●一部スマホアプリでもお支払い！
●追加オプションで、払込票の印刷と発送も外注！

口座引き落とし
●ほぼ全国の金融機関から引き落とし！
●保護者様の支払い忘れの防止に！
●初めの口座登録後は保護者様側での作業なし！

＼業者様での集金の負担軽減につながります／
キャッシュレス　サポート充実　使わない月は基本料金0円

リコーリース株式会社　BPO本部 決済営業課
▼お問い合わせはこちらから！
●TEL:0120-727-702（受付時間:平日9:00-17:00）
●WEB: リコーリース　集金代行　検索
▼当社WEBはこちらからも！